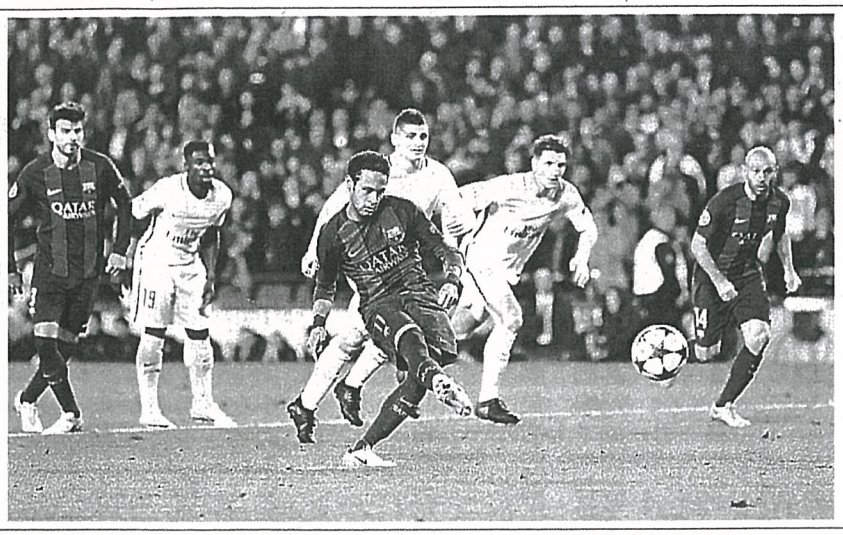
サ 大逆転8強

イマール 大車輪



パリ・サンジェルマン戦でPKで追加点を奪うバルセロナのネイマール＝バルセロナ（ゲッティ＝共同）

シ、スアレスとともにパリ・サンジェルマンの守備陣をきりきり舞いさせ、2得点1アシストの活躍。第1戦を0―4と惨敗したチームが勝ち抜くのは史上初で、AP通信によると「これまでの人生でベストな試合。歴史をつくった」と感慨に浸った。

窮地に追い込まれたチームを、すさまじい集中力で救った。10年連続の8強入りには3点が必要となった後半。まずは43分にFKで反撃ののろしを上げた。ペナルティーエリアのやや外、左45度から右足で蹴る。DFの壁を越えてカーブを描いた鋭いボールをGKは見送るしかなかった。

表示されたロスタイムは5分。スアレスが倒されて得たPKを確実に決めて5―1とすると、ホームの大観衆の応援を背にさらに相手ゴールに迫った。試合終了間際、ドリブルでの切り返しから相手をかわし、左足で浮き球のボールを前線に送ってセルジロベルトの奇跡の逆転弾を演出した。

約7分で奪った3得点に全て絡んだ25歳のブラジル代表FW。「われわれはまだ何も勝ち取っていない。これからの道は長い」と2シーズンぶりのCL制覇を見据えた。（共同）

ドルトも準々決勝へ

初戦黒星だったドルトムントが快勝し、ベスト8に名乗りを上げた。トゥヘル監督は「ベンフィカのようなチームから4点も取れるとは」と満足そうだった。

前半4分に早々と先制。その後は攻め込みながら追加点を奪えずにいたが、後半14、16分に立て続けにゴールを奪って一気に優位に立った。終盤にはオバメヤンが自身3点目を決めてハットトリックを達成した。

香川は大勢が決した後の後半36分から左MFで登場。出場時間が短く、ボールにもなかなか絡めなかったこともあって試合後は言葉が少なかったが、準々決勝進出については「それは最高です」と喜んだ。（ドルトムント共同）

ナショナルT 女子は加藤ら

テニス

日本テニス協会は9日の常務理事会で、2017年度前期のナショナルチームのメンバーを決め、男子は世界ランキング5位の錦織圭（日清食品）や西岡良仁（ミキハウス）ら計7人を選んだ。

女子は土居美咲（ミキハウス）大坂なおみ（日清食品）伊達公子（エステティックTBC）らのほか、若手中心のユースチームからの昇格となる加藤未唯（佐川印刷、立命館宇治高出）尾崎里紗（江崎グリコ）を合わせて計10人が名を連ねた。

●鳥海、森下に奨学金

あいおいニッセイ同和損害保険はこのほど、次代を担う障害者アスリート育成のための奨学金制度を創設したと発表した。車いすバスケットボール男子で日体大に進む鳥海連志（長崎・大崎高）と競泳女子の森下友紀（昭和女大）を第1号認定者としてサポートする。2人は昨年のリオデジャネイロ・パラリンピックに出場した。1人当たり年間100万円が給付され、卒業まで1年ごとに継続が可能という。

●サンウルブズ庭井初先発へ

スーパーラグビー（SR）の日本チーム、サンウルブズは9日、南アフリカのプルームフォンテーンで11日に行われるチーターズ戦に向けた登録メンバーを発表し、SR初出場となるフッカー庭井（立命大出）、プロップ山路、ロックのヘルの3人が先発に名を連ねた。フランカーのカーク共同主将や両WTBの福岡、中鶴らは開幕から3戦連続で先発。

遠征から追加招集されたフッカーの坂手（京都成章高―帝京大出）は控えに入った。開幕2連敗中のチームは、今季初めて相手本拠地で試合を行う。チーターズとは昨季2度対戦しともに敗れている。

◇バイアスロン 日本選手権第1日（9日・札幌市西岡競技場）＝関係分

▽女子7・5キロスプリント

③石井（龍谷ク）26分27秒5＝ペナルティー数2

◇スキー 全関西学生選手権第1日（9日・新潟県妙高赤倉）

【男子】

▽大回転第1戦 ①平田大樹（関学大）1分53秒37（55秒49、57秒88）②藤原（近大）1分53秒53③村田（京産大）1分53秒71

▽30キロフリー ①本間有次（立命大）1時間24分50秒4②小笠原（近大）1時間28分27秒5③春日（近大）1時間31分25秒3

【女子】

▽大回転第1戦 ①林崎華帆（立命大）1分56秒74（58秒76、57秒98）②関（関学大）1分56秒96③小木曽（京産大）1分57秒02

▽10キロフリー ①渡辺愛珠（同大）31分57秒6②小島（同大）32分18秒1③菅井（同大）33分4秒9

を想定して交渉ができるのは大きい」と、テスト大会の意義を強調した。

▽得点者【オ】デッカー（前13分）マルテンス（前19分）OG（後半48分）【日】横山（前20分）OG（後32分）

中、敵に寄せられながら出した弱いパスをカットされ、逆襲を受け価した。

この日の借りは今後の成長で返すしかな

事会やU―18（18歳以下）の大会、Jリーグのプレシーズン大会な

阪府寝屋川市の境川部屋で稽古をし「何とか間に合った。集中して、我慢して相撲を取っていれば、勝機も出てくるし、結果がついてくると思う」とご当地場所出場の意向を示した。

幕内佐田の海と妙義龍、十両豊響と23番を取って、22勝と力強さを見せた。立ち合いで足首を痛めて途中休場していた。

豪栄道は先場所、右足首を痛めて途中休場していた。

かった。師匠の境川親方（元小結両国）は「きょうまで出るか出ないか濁していたが、大丈夫じゃないですか。思ったより重みが出てきた。いい感じで仕上がったんじゃないか」と弟子の背中を後押しした。